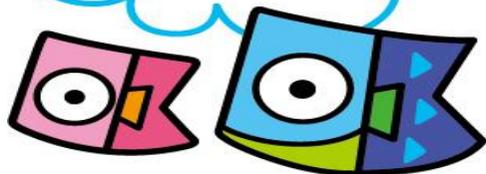


幼稚園の活動の中
からの事例です。



子育てのヒント



教師編 パート3

子供の素朴な疑問や心温まる言葉、教師の認めや励ましの言葉などの事例です



加須市立加須幼稚園

生活編



生活①

1・2の3で変身!

寒くなり、ジャンパーなどの上着を着て登園する子供たちが多くなりました。降園の支度の時、一人で着ることが難しい3歳児。そこで、マントのようにジャンパーを両手に持ち、ヒーローのように変身することを提案してみました。

「1・2の3でへんしーん!」

難しかったのに、自分でできた。
うれしいな!

「かっこいいね!」

「かっこいいでしょ。」



3歳児は、ちょっとした言葉かけでそのつもりになり、夢中になって変身していました。一人で着られるようになったことは自信になり、ボタンやチャックにも挑戦する意欲につながりました。

生活②

七人の神様

給食を食べている時のこと。お茶碗にたくさんご飯粒が残ったまま「ごちそうさま」をしようとしていたAさん。



「もうお腹が一杯!」



「そう。たくさん食べられてえらかったね!でもまだご飯粒が残っているよ!」



「もうお腹が一杯だもん」

そこでこんな言葉をかけてみました。



「ご飯粒の中には 7 人の神様がいますよ。」



「神様を残したらかわいそう。」



「そうだね。」



「ぜーんぶ神様食べちゃう!」



このことがきっかけになり、Aさんも、周りの子供たちもご飯粒を残さずに食べるようになりました。そして、いつのまにかお箸の使い方も上手になっていました。

生活③

楽しくお片付け

楽しく遊んだ後の片付けはなかなかやる気が起きないもの。そこで、取り出しやすく戻しやすい収納を工夫してみました。



「もっと遊びたかったのに。お片付け、したくない!」



「それなら迷子のおもちゃを、おうちに連れて行ってあげましょう。」

3つから4つくらいのグループに分けて、表示をつけ、片付けやすくしておいたので…



「うん。いそがなくなっちゃ!」

はりきって片付けをしてくれるようになりました。



自分で使ったものは自分で片付けられるように、取り出しやすく片付けやすい環境を工夫しています。

なんでも遊びに変えてしまう子供たち。ちょっとした魔法の言葉や、環境の工夫で楽しく取り組めるようになります。

生活④

暑いからいや!

残暑が残る9月、Aさんは戸外へ出て遊ぼうとしません。

「先生、暑いからお外で遊ぶのいやだ!」

「そうなんだね。でも、走ると風が気持ちがいいよ。先生と一緒に鉄棒のところまで競争しようよ!」

「うん!負けないぞー!」
「よーいドン!」

かいっぱい走るAさんの様子を見ていたBさんが、
「Aさん、頑張れ!」

「たーのしい! 次は友達と一緒にやりたいな!」

「先生と一緒に競争しよう!」という言葉かけが、Aさんの心を動かしました。「一緒に」がポイントです。子供たちは一緒に遊んでくれることが何より嬉しいのです。

生活⑤

「命」をいただくということ…

 生き物について、クラスで話し合いをしていた時のこと。
「虫や花にも命があるよね。」

 「大切にしないとかわいそうだね。」

 「頑張って生きているもんね。」

 するとAさんが、
「みんなは魚さんや動物さんの命をもらって生きられるんだよ!」

 「その通りだね。いただいた命を大切に
しなくちゃね。」



Aさんの言葉が心に響いたようで、クラスで世話をしていたクワガタを大切に育てたり、給食を残さずに食べようとしたりする姿が見られるようになりました。食べ物への感謝の気持ちが芽生えたようです。

他者との関係編

じゅんばんにならぼう!



他者との関係①

ハムちゃんの救急病院

夜、Aさんの弟が家の階段から落ち、救急病院へ行った話をしていました。

「とてもびっくりしたんだ。」

「大変だったね。」

しばらくすると、救急病院ごっこが始まりました。空想のハムスターを両手で持ち、救急病院へ搬送。

「大変です!ハムちゃんがけがをしています!」

「それは大変です。すぐに診てあげましょう。寝かせてください。」

「はい。お願いします。」



Aさんにとってとても衝撃的な出来事だったのでしょう。子供たちは経験したことをすぐに模倣しようとしています。空想のハムスターを、両手で大事に持っていました。

他者との関係②

友達と一緒にチャレンジ!

プール遊びをしていた時のこと。水が怖くて水着に着替えることをためらっていたAさん。



「今日は着替えるのやめる…」

すると、仲の良いBさんが、



「プール遊び、楽しいよ!」

けれど、Aさんは、



「でも、怖い…」



「一緒に入れば大丈夫だよ。」

友達に励まされたAさんは、水着に着替えると、友達と手をつないでプールに入水することができました。



二人のやり取りを微笑ましく見ていました。友達の存在はとても大きいですね。大好きな友達がいれば、どんなことにも挑戦していけそうです。

他者との関係③

先生の言う通り

進級当初、環境の変化に戸惑い、新しい友達とのかかわりに自信がもてなかったAさん。そこで、こんな言葉かけをしました。



「みんな、Aさんと友達になれて喜んで
いるよ!」

しばらくして、慌てて教師のもとへやってきたAさん…



「先生の言う通りだったよ!」

「Bさんに、友達になれてうれしいよ!って
言ったら、Bさんもおんなじ気持ち
だって!」



「よかったね。とってもうれしいね。」



「うん!」



Aさんの満面の笑みが印象的でした。一歩踏み出す勇氣、大人でも難しいことです。このことがきっかけになり、自信をもって友達とかかわれるようになっていきました。

興味・関心編

こおりになってる!



興味・関心①

みみかき

模倣が大好きな3歳児。砂遊びをしている時に、砂で作った山のとっぺんを細い棒でグリグリ。



「なにをして遊んでいるの?」

「みみかき!」

その手つきと、時々フーフーする様子に…



「本当にみみかきをしているみたい!

じょうずね。」



「お母さんがいつもしてくれるの!」



大人の様子をよく見ていますね。もしかしたら、兄弟が耳かきしてもらっているのを見ているのかもしれませんが。それにしても、とってもいい手つきをしていました。

興味・関心②

恐竜の手

春が近づき、園庭の桜の花が芽吹き始めたころのこと。



「恐竜の手、とって!」

桜の木の下に数名の子供たちが集まり、「何か」を取り合っていました。



「何をしているの?」

「恐竜の手があるんだよ!」



「どこにあるの?」



「ほら!ここだよ!」



よく見てみると、桜の芽吹きが本当に恐竜の爪が伸びているように見えました。



改めて、子供たちの「見立て」の力に脱帽です。遠足で恐竜を見たことが印象に残っていたのでしょうか。見たものを感じるままに素直に言葉で表現する気持ち、大切にしたいです。

興味・関心③

たくさんの秘密!

市内一斉消防訓練の日のこと。消防自動車を見学していると…



「消防車かっこいいね!」



「消防車の秘密をたくさん見つけてね!」

「ホースがあった!!」



「服は燃えない服なのかな?」

「はしごは、高いところにいる人も助ける



ためだよね。」

「私も、消防士になって火事で困っている



人を助けたいな。」



「秘密」を見つけるのが大好きな子供たち。教師の言葉に目を輝かせながら、沢山の「消防自動車の秘密」を見つけようとしていました。

興味・関心④

ぜんぶ飲んじゃった!

天気の良い日には、花壇の花にゾウの形のじょうろを使って水やりをすることに夢中になっていました。

「お花さん、お腹がすいているかなあ。

お水をあげなくちゃ。」

花壇にたまった水が、土の中にしみ込んでいく様子をじっと見ていたAさんは…

「わあ!もう飲んじゃった!」

と、びっくりした様子。

「お腹がすいていたのね。」



「お花さん、よろこんでる。」

最初は水を遣るというよりも、じょうろでの水遊びが楽しくなってしまった子供たち。そして、じょうろで水を運べるようになって、花壇に到着するまでには服や靴は水浸し。経験を重ねながら、上手にじょうろが使えるようになりました。

Aさんは、家庭でも花を大切に育てるようになったそうです。



興味・関心⑤

ミニカーのジャンプ台

ミニカーを、スキージャンプのように見立てて、ソフト積み木で組み立てたジャンプ台を作って遊んでいました。



「いくよ!ぼくの番ね!」



けれど、積み木の長さが足りず、イメージしたようにジャンプを成功させることができません。

「これじゃあ短くて楽しくない!」



「どうしたらいいと思う?」

子供たちに考えさせてみました。すると、もう一つ長い積み木を持ち出し、つなげてみることにになりました。



「よし、こんどこそうまくいくぞ。」

こんどはつなぎ目のごつごつしてミニカーが止まってしまいました。



「こまったね。今日だけ特別に積み木をガムテープで貼ってみようか?」



「そうだね!」

こうして、無事にイメージ通りのジャンプを実現することができました。十分に試行錯誤を繰り返したのち、こんな方法はどうか?と、ヒントを与えていくことで、成功の喜びが増していきますね。

